

第6回 茅ヶ崎海岸グランドプラン推進会議の概要

1 日時	平成 18 年 6 月 17 日（土）18:00～20:30
2 場所	茅ヶ崎市役所分庁舎 D 会議室
3 出席委員	岩本えり子、折原清、亀山計次、新谷雅之、大坊裕、高橋一紀、益永律子、水沼淑子、山口洋一郎、山本泰然、
4 傍聴人数	13名
5 市出席者	市企画調整課長、課長補佐、担当者、コンサルタント
6 議 題	1) 計画コンセプト、まちづくりの理念、将来像、ゾーニングについて 2) その他
7 会議の概要	<p>1. まちづくりの理念及び将来像について</p> <p>○まちづくりの理念については、岩本委員（案）とする。 自然環境再生・景観の修復/ふれ合う、安らぐ、楽しむ/地域文化の伝承</p> <p>○将来像については、事務局（案）をベースに再調整する。 （主な意見） 事務局案は長いため、短く項目的にまとめた方がよい。 理念が複数あってもよい。無理に一つにまとめることはない。 各委員の意見は網羅されているが、わかりにくくなっている。 将来像については、長期的なことはまだ一致していない部分がある。d)の産業起し的な話は共通認識ではない。 a)、b)、c)、e)は合意済みだが説明文は議論する必要がある。 「アメニティと活性化」については、「楽しい空間」、「魅力ある資源」という言葉を入れて再度検討する。</p> <p>2. 土地利用ゾーニング（案）について</p> <p>○海岸部分のゾーニング・方向性については「自然の保全・再生」ということで共通認識されている。 「どこから海岸と考えるか」で意見が分かれている。</p> <p>① 国道134号以南が海岸である考え方→A、B、C地区は海岸である。（本来の姿に戻していくべき）</p> <p>② サイクリング道路以南が海岸である考え方→A、B、C地区は海岸ではない。（現状追認）</p> <p>○A、B、C地区についての方向性が出ていない。 （主な意見） 茅ヶ崎都市計画マスタープランにおいては、B地区も含め公園緑地ゾーンとなっている。当然ながら、海岸は都市空間ではない。 都市マスタープランは18年度～見直しする。GP推進会議の考え方が都市マスタープランに反映される。</p>

	<p>地形的なことを重視すべき。国道 134 号の南側は海岸である。住む場所ではない。</p> <p>当該地区については、自然だけがあるというのではなく、比較的市街地から近くアクセスしやすい環境にあるということも考慮して考える必要がある。</p> <p>市街化区域（第一種住居区域）と海岸保全区域が重なっていることがそもそもの問題で、国道 134 号より南側を住居区域とすべきではない。</p> <p>3. A地区の扱いについて</p> <p>A地区については移転。土地を交換して緑を確保する。</p> <p>A地区の払い下げを議論の前提として考えることは推進会議の共通認識になっていない。資料 1 に記載された共通認識事項からはずすこと。</p> <p>4. B地区の扱いについて</p> <p>北側を含めないと解決できない。</p> <p>将来的な理想の部分はあるが、事実的な問題も含めて事業性を担保した提案ができないと議論にならない。</p> <p>買い取るという考えも選択肢の一つ。トラストで基金を集め買い取るという方法。</p> <p>トラストでやるにしても時間はかかる。システム、基金管理等の手続き。最後の手段として買い取りがあると思う。最初から買い取りを前提として考えるのはいかなものか。</p> <p>B地区の民地取得手法にからんで、北側の市有地、県有地、国有地などとの交換が考えられないか。</p> <p>市の緑のまちづくり基金の活用、景観整備機構などの立ち上げができないか。</p> <p>5. 国道北側地区の取り扱いについて</p> <p>B地区の建物をなくすために北側の住民を犠牲（容積移転）にすることはできない。</p> <p>北側を議論するならば、住民との合意形成を図りながら進める必要がある。</p> <p>北側を含んで再開発事業をやるとなれば地権者が増えるということで非常に長期的な事業になる。</p> <p>北側の扱いについては中長期的なプランの中で議論していくべき。</p> <p>6. B地区タスクフォースへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○理念と将来像、土地利用ゾーニング（案）を提示する。</li> <li>○買い取りの可能性について地権者の意向を聞く。</li> <li>○買い取りが無理ということであれば、山口委員の案を提示。</li> <li>○北側地区の扱いについては、一つの選択肢としてあるが周辺住民の合意</li> </ul>
--	---

形成が先にありきだから、推進会議としてはまだ出さない。

7. 次回のまちづくり協議会

- 理念・将来像と前回協議会意見のまとめを資料として提示する。
- A地区、B地区についての意見をもらう。

8. 次回以降のスケジュールについて

- 次回推進会議予定

第7回：7月8日／第8回：7月22日／第9回：8月12日

以 上